

整理番号: E-MF10-04

作成日 2002年2月12日

改訂日 2024年4月1日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

|          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 化学品の名称   | マイコセル寒天培地‘栄研’               |
| 製品コード    | E-MF10                      |
| 会社名      | 栄研化学株式会社                    |
| 本社住所     | 〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9    |
| 担当部門住所   | 〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地 |
| 担当部門名    | 信頼性保証部                      |
| 担当部門電話番号 | 0280-56-2822                |
| 緊急連絡電話番号 | 0280-56-2822                |
| FAX番号    | 0280-56-2422                |
| 推奨用途     | 細菌検査用の培地として使用               |
| 使用上の制限   | 推奨用途以外への使用は禁止する。            |

## 2. 危険有害性の要約

|           |  |
|-----------|--|
| 化学品のGHS分類 |  |
| 物理化学的危険性  | 区分外  |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口) 区分3<br>生殖細胞変異原性 区分2<br>発がん性 区分1B<br>生殖毒性 区分1B |

## GHSラベル要素

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 絵表示又はシンボル                     |   |
| 注意喚起語                         | 危険  |
| 危険有害性情報                       | H301 飲み込むと有毒<br>H341 遺伝性疾患のおそれの疑い<br>H350 発がんのおそれ<br>H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  |
| 注意書き                          | この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。<br>保護手袋を着用すること。取扱いはよく洗うこと。<br>保護眼鏡/保護面を着用すること。<br>安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。必要に応じて個人用保護具をしようすること。<br>環境への放出を避けること。                 |
| GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性 | 該当なし  |
| 重要な徴候及び想定される非常事態の概要           | 該当なし  |

## 3. 組成及び成分情報

|                  |               |
|------------------|---------------|
| 化学物質・混合物の区別      | 混合物           |
| 化学名又は一般名         | シクロヘキシミド      |
| 慣用名又は別名          | シクロヘキサマイド     |
| 化学物質を特定できる一般的な番号 | CAS番号 66-81-9 |
| 成分及び濃度又は濃度範囲     | 1.1w/w%       |
| 官報公示整理番号         | 4-295(化審法)    |
| GHS分類に寄与する成分     | 該当なし          |
| 化学名又は一般名         | クロラムフェニコール    |

慣用名又は別名  
化学物質を特定できる一般的な番号  
成分及び濃度又は濃度範囲  
官報公示整理番号  
GHS分類に寄与する成分

2,2-ジクロロ-N-(β-ヒドロキシ-α-(ヒドロキシメチル)-p-ニトロフェネチル)  
CAS番号 56-75-7  
0.14w/w%  
該当なし  
該当なし

#### 4. 応急措置

吸入した場合

吸入による事故の場合は負傷者を新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ呼吸気道を確認した上で人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類は全てを直ちに脱がす。  
皮膚に触れたら、直ちに多量の水と石鹼で洗う。

眼に入った場合

最低15分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行う。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに医師の診察を受け、医師にその容器、ラベル又はSDSを見せる。  
水でよく口の中を洗わせる。意識がある場合、水をコップ1-2杯飲ませた上で、指のどに差し込んで吐き出させる。  
被災者に意識の場合は、吐かせてはならない。

急性症状及び遅発性症状の  
最も重要な徴候症状

吸入

情報なし

皮膚

情報なし

眼

情報なし

経口摂取

情報なし

最も重要な兆候及び症状

情報なし

応急措置をする者の保護に  
必要な注意事項

適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤

水、粉末、炭酸ガス、泡

使ってはならない消火剤

該当なし

火災時の特有の危険有害性

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。  
消火水は汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。  
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火活動を行う者の特別な  
保護具及び予防措置

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具  
及び緊急措置

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、  
眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外の立入りを禁止する。  
風上に留まる。  
密閉された場所に立入る前に換気する。  
低地から離れる。

環境に対する注意事項  
封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を河川等に直接流してはいけない。  
適切な保護衣を着用していないときは破損した容器や漏洩物に触れてはいけない。  
関係者以外の立ち入りを禁止する。  
適切な保護具を着用する。  
危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。

二次災害防止策

関係者以外は近づけない。  
風上に留まる。  
低地から離れる。  
密閉された場所に入る前に換気する。  
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。  
容器内に水を入れない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策  
安全取扱い注意事項

「8.ばく露防止及び保護処置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
使用前に使用説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
眼、皮膚との接触を避けること。  
飲み込まないこと。  
皮膚との接触を避けること。  
眼に入れないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
環境への放出を避けること。

保管 接触回避  
衛生対策  
安全な保管条件  
安全な容器包装材料

データなし  
データなし  
直射日光を避け、密栓して室温に保管する。  
ポリエチレン、アルミメタル

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度  
日本産衛学会  
ACGIH

未設定  
未設定  
未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
ばく露を防止するために、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具  
手の保護具  
眼、顔面の保護具  
皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。  
適切な保護手袋を着用すること。  
適切な保護具を着用すること。  
適切な保護衣を着用すること。

特別な注意事項

使用する際は、飲食や喫煙をしないこと。取り扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

マイコセル寒天培地‘栄研’

物理状態

物理状態  
色  
臭い

粉末  
淡黄白色  
特異なおいはあるが腐敗臭はない。

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

6.9±(調製後)

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール/水分係数(log値)

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

その他のデータ

データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

日光、熱

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)、塩素/塩化水素

その他

特になし

## 11. 有害性情報

### 急性毒性 経口

区分1:CAS番号:66-81-9(毒性値=2mg/kg 含有率=1.1% 出典:NITE)  
ATEmix=100 / (1.1% / 2mg/kg) の計算結果より、混合物としての毒性値  
=181.8mg/kgのため、区分3に該当。  
危険有害性情報:H301 飲み込むと有毒

### 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

混合物としてデータなし  
区分2A:CAS番号:66-81-9(含有率=1.1% 出典:NITE)  
加成方式が適用できる成分からの判定:  
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該  
当しないに該当。

### 呼吸器感受性又は皮膚感受性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該  
当しないに該当。

### 皮膚感受性

区分2:CAS番号:66-81-9(含有率=1.1% 出典:NITE)  
加成方式が適用できる成分からの判定:  
(区分1+1A+1B+1C) × 10+区分2の成分合計が1.1%であり、濃度限界(10%)以下  
のため、区分に該当しないに該当。

### 生殖細胞変異原性

区分2:CAS番号:56-75-7(含有率=0.14% 出典:NITE), CAS番号:66-81-9(含有  
率=1.1% 出典:NITE)  
CAS番号:66-81-9が1.1%であり、1%以上のため、区分2に該当。  
危険有害性情報:H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

### 発がん性

区分1B:CAS番号:56-75-7(含有率=0.14% 出典:NITE)  
CAS番号:56-75-7が0.14%であり、0.1%以上のため、区分1Bに該当。  
危険有害性情報:H350 発がんのおそれ

### 生殖毒性

区分1B:CAS番号:56-75-7(含有率=0.14% 出典:NITE), CAS番号:66-81-9(含有  
率=1.1% 出典:NITE)  
CAS番号:66-81-9が1.1%であり、0.3%以上のため、区分1Bに該当。  
危険有害性情報:H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該  
当しないに該当。

### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該  
当しないに該当。

### 誤えん有害性 その他

データなし  
特になし

## 12. 環境影響情報

### 水生環境有害性 短期(急性)

区分1:CAS番号:56-75-7(含有率=0.14% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)  
=なし 毒性値(藻類)=0.78mg/l 出典:NITE)  
加算法(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3が14.00%であり、濃度限  
界(25%)未満のため、区分に該当しないに該当。

### 水生環境有害性 長期(慢性)

区分1:CAS番号:56-75-7(含有率=0.14% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)  
=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=無 出典:NITE)加算法(毒性乗率 × 100  
× 区分1)+(10 × 区分2)+区分3が14.00%であり、濃度限界(25%)未満のため、  
区分に該当しないに該当。

### 生態毒性

データなし

### 残留性・分解性

データなし

### 生態蓄積性

データなし

### 土壤中の移動性

データなし

### オゾン層への有害性

データなし

### 他の有害影響

特になし

## 13. 廃棄上の注意

### 化学品、汚染容器及び包装の安全で、か つ環境上望ましい廃棄、又はリサイクル に関する情報

#### 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有  
害性のレベルを低い状態にする。  
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

#### 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に  
従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

|  |       |
|--|-------|
| 国連番号   | 該当しない |
| 品名(国連輸送名)  | 該当しない |
| 国連分類   | 該当しない |
| 容器等級   | 該当しない |
| 海洋汚染物質   | 該当しない |
| MARPOL73/78附属書II及びIBC<br>コードによるばら積み輸送される<br>液体物質 | 該当しない |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 輸送又は輸送手段に関する特別の<br>安全対策 | 運搬に際しては転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確<br>実に行う。 |
| 国内規制がある場合の規制情報          | 情報なし  |
| 国内規制 海上規制情報             | 船舶安全法の規定に従う。                                |
| 国内規制 航空規制情報             | 航空法の規定に従う。                                  |
| 国内規制 陸上規制情報             | 毒物及び劇物取締法の規制に従う。                            |
| 応急措置指針番号                | 該当しない                                       |

## 15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されている。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認すること。

### 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

#### 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条)  
(クロラムフェニコール、シクロヘキシミド)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)  
(クロラムフェニコール、シクロヘキシミド)  
がん原性物質(安衛則第577条の2)  
(クロラムフェニコール)

#### 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

該当しない

#### 毒物及び劇物取締法

劇物【シクロヘキシミドを含有する製剤】

#### 労働基準法

該当しない

#### 化審法

該当しない

#### 航空法

毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)

#### 船舶安全法

毒物類・毒物(危規則第3条危険物告示別表第1)

#### 消防法

該当しない

#### 大気汚染防止法

該当しない

#### 水質汚濁防止法

該当しない

#### 土壌汚染対策法

該当しない

#### 下水道法

該当しない

#### 海洋汚染防止法

該当しない

#### その他の適用される法令の名称及びその法 令に基づく規制に関する情報

特になし

## 16. その他の情報

### 安全上重要であるがこれまでの項目名に直接関連しない情報

#### 引用文献

各データ毎に記載

#### その他

SDSは、品質保証書、規格書ではありません。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱って下さい。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施して下さい。